



# 南戸塚中だより

令和4年度 第10号  
令和5年2月20日発行  
学校長 赤堀 貴  
電話 871-7611



## 卒業まであとわずかか ～仕上げの大切な時～

3月8日(水)の第37回卒業証書授与式が目前となりました。これから、中学校生活最後の締めくくりです。皆さんの中学校生活は、新型コロナの影響を受け続けた3年間でした。中学校生活を話題にするときは、必ずこのフレーズがついてくるでしょう。最後まで、卒業式でのマスクの扱いが話題になっていますが、式が行えること、みなさんが元気なことが、まずは何よりです。二度とない中学校生活の残りの時間を大切に、式では堂々と証書を受け取ってください。

### 戸塚区合同学芸会

1月27日(金)、6組の生徒たちは、磯子公会堂にて3年ぶりに開催された合同学芸会に参加しました。戸塚区9校がそれぞれ練習を積み重ねてきた成果を披露しました。どの発表も個性豊かで、子どもたちの真剣な表情や、終わった後の緊張が解けた、やりきった感の表情がとても微笑ましかったです。

ナントツの演目は、「エイサー『ダイナミック琉球』」。踊りは見事で衣装も華々しく、来場者から大きな拍手と好評をいただきました。以下は、生徒の感想です。

「とても難しい振り付けで、最初は動きや太鼓を打つタイミングがバラバラでしたが、何回も練習して、動きも太鼓を打つ音もピッタリ合うようになりました。」

「今年は、ビデオでの発表ではなく、緊張感のある広い公会堂でエイサーを発表できたことが一番うれしかったです。本番は、完璧な演技ができました。」



### タイトル上のメッセージ

今月は、邦題『青春の輝き』、英語では“I need to be in love. (私は恋することが必要)”です。恋愛についての歌です。恋愛観、人生観が語られている歌で、内容はなかなか難しいと思います。これから、いや、もう既に青春の真ただ中にいる皆さんも、もしかしたらこの歌詞のように悩むことがあるかもしれません。“The hardest thing I’ve ever done is keep believing (人生で一番つらいことは信じ続ける事)” “My chance could come and I might never know (私にもチャンスが来るかもしれないし、それに気づかないのかもしれない)”など、意味深なフレーズがたくさんあります。哀愁漂う曲ですが、いい曲です。是非、聴いてみてください。

## キャリア学習

1月23日(月)の5・6時間目に、2年生は外部講師を招いて職業講話会を行いました。この学習は、働くことの意味や働く人の夢や願いについて知り、自分自身の特徴を内省的に捉え、周囲との関係で理解する、そして学ぶ意味や自己の将来について考えることをねらいとしています。講師は、【日本テレビ ～情報の海の泳ぎ方～】、【東罐興業 ～容器の役割について学ぼう《容器が社会を変える?未来をつくる力》～】、【NEC ネットエスアイ ～南極くらぶ《知ろう・見よう・触ろう》～】、【公益資本主義推進協議会 ～経営者が語る「生きるとは?」「働くとは?」～】【投資診断協会】の方々でした。それぞれの専門分野について、具体的なお話をいただき、とても有意義な学習となりました。ありがとうございました。生徒の感想を2つ載せます。

【公益資本主義推進協議会】 2年1組 O.A.

どんな仕事も必ず人の役に立っていると聞いて、どんな仕事に就いたとしてもどう役に立っているかなど考えながら働くことやりがいを感じることができて、より仕事と向き合えるのかなと思いました。

【日本テレビ】 2年4組 S.S.

私は今まで誰かが言っていたことをすぐに信じてしまっていたけれど、「一次情報」を大事にすれば、正しい情報が分かるということを知ることができました。これからは、人から聞いた話や見た話をすぐに信じるのではなく、誰から聞いた情報かなどを確認したいと思いました。



## 学年末 1年間の学習のまとめを

1、2年生は2月16・17日に学年末試験を行いました。進級に向けて、この1年間の学習の仕上げをしておくことは大切です。かつて、中2の生徒は1995年に廃止されるまで3月中旬にアチーブメント・テスト(ア・テスト)という2年次までの学習を測る9教科すべての試験が3月中旬に行われていました。その点数は25%の割合で公立高入選の内申点に含まれていました。もうア・テストはありませんが、試験結果を振り返り、1年間の復習を3月中にやっておきましょう。

【2月正門前ポスター】

【1月本校代表書初め作品】

